



1年生現場見学

～初めての建設現場を見学～

7月25日(火)、京都市西京区総合庁舎では、ちょうど設備関連工事が進んでいる様子を中心に見学させていただきました。

生徒たちは、初めて見る大きな現場という事もあり、気になることはその都度質問していました。今回は、鉄骨造に一部木造という混構造であり、木材と鉄骨をどのように接合するのか等、なかなか見ることでできない所も目にすることができました。

午後は「ことらいふ東寺」を見学しました。ここは町家を改修したのですが、生徒たちは築80年とは思えない外観・内観に驚いていました。実際に改修するまでの過程を学び、内部を案内していただきました。傾いていた柱を建てなおしたり、土壁を再利用したりなどの工夫がありました。生徒たちからは、「ぜひ住んでみたい」という声も挙がりました。

今回の現場見学では、1日に2つの現場を見学させていただきました。実際に現場を見ることで得られるものはとても大きいです。生徒たちにとっても良い勉強になりました。



インターンシップ

～仕事現場ならではの学びを深める～

夏休みの期間を利用して、2年生がインターンシップ(職業体験)に参加しました。地元企業・団体13社の方々が多く受け入れてくださり、普段の学校生活では味わえない貴重な経験をしました。実際の現場に触れたり、貴重な講話を聞いたり、そして働いている方々と交流する中で職業に対する理解を深めることができました。

生徒たちは仕事の大変さとともにやりがいや楽しさを知り、自身の進路についても考える大変有意義な機会となりました。今回お忙しい中、受入をしていただいた各事業所様には感謝申し上げます。

株式会社大滝工務店(舞鶴市)

株式会社田中工務店(舞鶴市)

八雲保育園(舞鶴市)

(株)ヨネダ(福知山市)

前田工業株式会社(福知山市)

三丹開発株式会社(福知山市)

金下建設株式会社(宮津市)

宋徳建設株式会社(宮津市)

丹後海と星の見える丘公園(宮津市)

みずほ保育園(宮津市)

児童発達支援センターすずらん(宮津市)

安田建設株式会社(与謝野町)

北丹生コン株式会社(与謝野町)

※企業名等は敬称を省略してあります。



木工教室

～高校生が製作サポート～

7月29日(土)、宮津・与謝管内の小学生を対象に木工教室を行いました。5・6年生は「木製いす」の製作、1～4年生は「コリントゲーム」の製作を行いました。

高校生は小学生が安全に作業ができるように道具の使い方の説明や補助などのサポート役として参加し、完成するまで丁寧に教えていました。作品が完成した小学生が嬉しそうに、高校生にお礼の言葉を言っている場面もあり、高校生にとっても小学生にとっても有意義な時間となりました。

この木工教室は、人に喜ばれる嬉しさをとても感じられる取り組みの1つです。中学3年生のみなさんも来年はぜひ、建築科の一員として、小学生に教えてみませんか？

木工教室



体験セミナー



体験セミナー

～高校への進路選択の第1歩～

8月1日(火)の体験セミナーには、11の中学校から56名の参加があり、模型製作、CAD実習、材料実験を体験しました。

模型製作では、スチレンボートを使って鉛筆立てを製作、CAD実習では、6月に導入したばかりのCAD装置を用いて、東屋の設計を行いました。材料実験では、昨年2月に導入された試験機を用いて、コンクリートと鉄筋の強度試験を行いました。

参加した中学生は、「教えてくれた先輩がとても優しくだったので、体験学習がとても楽しかった」「建築にはあまり興味がなかったけど、今日建築を体験してみても興味を持ちました」などと感想を述べていました。

学校祭 (文化祭)

【3年生】

校門アーチ

「SNOW DOME」

建築科3年生がクラス取組で製作する文化祭伝統の「校門アーチ」。今年は、「新しい校門アーチ」を合言葉に、環境と納涼をテーマに掲げ「夏のかまくら」をダイナミックに表現しました。

宮津市内の放置竹林の間伐材を利用した「竹」の骨組みを「和紙」で覆い、直径7.6m・高さ3.8mの「大型ドーム」の他大小合わせて5体作り、学校祭を彩りました。

試作と失敗を繰り返しながらも無事完成させることができ、生徒は一樣に安堵感と達成感を口にしていました。

製作期間は3週間あまりでしたが、各々の生徒がそれぞれの役割を見つけながら主体的に活動している姿を見ると、「協働力」の伸長を感じ取ることができました。

校門アーチの製作は、思うように作業が進められないことや、危険な道具を使うこともあり、試行錯誤しながら進めました。また、巨大なアーチだったため数人がかりで作業をする必要があったので大変でしたが、協力し合いながら行うことができ、よりクラスの仲が深まったと感じることができました。私の人生の中でこれ以上巨大なものを作ることはないかもしれません。唯一無二の校門アーチを作ることができて楽しかったです。

柴田 一景

夏のかまくらを作ると決まった時は、本当に完成させることができるのか、文化祭までに間に合うのかと、不安がありましたが、無事に完成させることができ、金賞も取れて、本当にうれしかったです。きっとこのクラスじゃないとこんなに良い校門アーチを完成させることはできなかっただろうと思います。高校最後の文化祭が最高の思い出になり、3年5組のクラスで本当に良かったと思える楽しい3日間でした。

三宅 ちな



【2年生】

演劇「ふたを裁け!!」

今回の文化祭では、建築科2年生は演劇「童話裁判 ふたを裁け!!」を上演しました。展示という選択肢もある中で、このクラスで演劇にも挑戦をしてみたいという意見が上がり、協力してひとつの演劇を作り上げました。既存の脚本がない話であり、『裁判』というふたつの正義が戦う、いわゆる答えの無い舞台を作り上げる難しい挑戦でした。

生徒たちは、最初は経験の無い演劇に挑戦することに不安を覚えていましたが、脚本編集から練習まで、監督や実行委員を中心にできる工夫を出し合って協力していき、だんだんと良い形になりました。キャストは練習のビデオを見ながら、演技や舞台について改善を話し合いました。また、大道具長を中心に道具にもこだわりました。建築科の授業で培ってきた「もの作り」への姿勢を活かし、道具係だけではなくみんなで力を合わせて三匹の子豚が住む家を立体的に造形し、様々な小道具も緻密に作り上げました。

本番では生徒全員が「今までで一番良かった!」と表現するほど、音響、照明、キャスト、道具が全て噛み合った舞台になり、観客の笑い声もたくさん響き大成功をおさめました。ひとつの目標に向かいみんなが力を合わせた良い経験となりました。



【1年生】

展示「迷宮の礎」

今年度、建築科1年生は展示「迷路の礎」を製作しました。

ただの迷路ではつまらないということで、謎解き要素を入れたり、隠し扉をつくったり、ゴールには滑り台を設置するなどの、来場者に楽しんでもらえる工夫を凝らしていました。会場準備も2日しかなく、バタバタではありましたが、各自が頑張ってくれましたと思います。

当日は、多くの方に楽しんでいただけました。生徒たちは、今回初めてクラスみんなで1つのものを作るということで、様々な苦労があったと思います。ここで得られた経験を来年度以降の学校祭に活かしてほしいです。



※生徒氏名は敬称を省略してあります。